

令和4年度旭川未来会議2030観光分野 第2回分野別会議 会議録

- 1 開催日時 令和4年8月18日(木) 午前10時から午前11時10分
- 2 開催場所 旭川市民文化会館2階 第3会議室(旭川市7条通9丁目)
- 3 出席者(参加者) 井上雅之, 大野由加利, 柏葉健一, 喜久野夕介, 椿谷有海, 西野目智弘,
山崎五良, 米谷侑治
※敬称略, 五十音順
- 4 出席者(市側) (運営事務局)
観光スポーツ交流部 菅原部長, 小島次長
観光課 橋本課長補佐, 大塚主査
(統括事務局ほか)
広報広聴課 中屋課長, 乙坂主査
政策調整課 廣岡主査, 石田主査
森本CDO
- 5 会議の公開・非公開 公開
- 6 傍聴者 3名(報道機関:3名)
- 7 意見交換
 - (1) 議題「観光客の誘客に向けた取組」について
(進行役)
 - ・前回の会議で, 観光客の誘客に向けた取組について御発言いただきましたけれども, 本日は分野別会議としてその意見をまとめていくために, 皆様には3案程度に絞っていただき, 御発言いただきたいと思います。
(参加者)
 - ・皆さんの御意見を組み合わせたような形で考えてみました。
まず一つ目は, 道の駅プロジェクトと朝市を活用した誘客を組み合わせた取組です。観光案内をしていて, よく「市場はありますか?」と聞かれます。おそらく, 札幌の二条市場のようなイメージを連想されていらっしゃるのだと思いますが, 旭川で市場は難しいかもしれませんが, 朝市として, 旭川の米, 野菜や果物, また旭川に物流が集積するという地の利を活かした地場産品をファーマーズマーケットとして展開してはどうかと, 以前から思っていました。例えば, 道の駅や大雪アリーナの駐車場, 買物公園, 旭川駅南などが場所として考えられます。なぜなら, 観光客が宿泊施設から徒歩で行けるくらいの距離の中心部での開催か, 又はバスの便が良いところが好ましいです。そして, その場で何か少し味わえたり, テイクアウトできたら良いと思います。また, 朝市の見学をした後に, 地場産品を買えるようなツアーなどがあつたらいいです。

二つ目は、旭川駅南へのビーチ建設と川下りの取組の意見を合わせまして、旭川駅を活用した取組ができないかなと思います。駅に川が隣接しているのは非常に珍しく、市の中心部にありながら街の喧噪を忘れられる北彩都ガーデンもあることから、それを活かさない手はないです。ビーチの建設とありましたけれども、親水公園のような形で、ガーデンと川を活用してもう少し整備できる部分があると思います。ファーマーズマーケットを設けたり、駅南側の川沿いにベンチの数を増やしたり、川のせせらぎを聞きながらくつろげる空間を広げるということです。あと、冬も大自然の中にいるような静けさが魅力的な場所で、現在でもわざわざ雪の中に入っていき、写真を撮られている方が後を絶たないエリアですので、雪遊びができるスペースを設置したり、チェアリングや寒さ体験ができるアクティビティなどが行われたら良いと思います。

三つ目ですが、前回、バスの外国語表記やタクシー運転手の登録制の意見がありましたけれども、これらを統合して二次交通の更なる整備として考えてみました。外国人観光客にとっては、バスに乗る時と降りる時が不安になる部分だと思います。京都や函館の二次交通を見ると、車内にわかりやすい路線図があったり、外国語でのアナウンスがあったりと、案内が明確になっています。ですので、バス停や時刻表、バス車内の運転席上部の案内板なども全て英語を併記するような対策をしていただきたいと思います。また、観光タクシーについては、事前にシステムで登録内容を紹介できたり、キャッシュレスで予約ができるようにして、旅前にあらかじめ手配できるような仕組みになっていたら良いと思います。まとめると、二次交通の表記や案内の仕方を改善するというようなことになります。

(進行役)

- ・複数の意見を合わせるような取組の発言でございました。道の駅を活用しながら、朝市やファーマーズマーケットを開催するという。旭川駅南を整備して、川下りなどを行っていく。あとは、二次交通の充実ということ。

(参加者)

- ・旭川駅南の整備は、北側とのギャップという部分や、JRからも眺めることができ乗客からの訴求性が高まるので、重要な取組になります。例えば、冬の活用でいうと雪中パークゴルフ、雪合戦世界大会、テントサウナなどが面白いと思いますし、サウナは入った後に雪に飛び込んで、それを駅舎越しに写真に撮ってSNSに投稿してもらおうと、駅のすぐ近くでこんな体験ができるのかと広まっていくと思います。また、先日ニセコにとっても長いスラックラインができましたが、神楽側の堤防から駅に向かってスラックラインを引くのはとても魅力的なアクティビティになります。

次に、マルシェと朝市の平行プランですが、道の駅は物産テナントというよりは飲食テナントに寄っていて、展示会場がメインなので、現状は物産での活用がなかなか厳しいものがあります。なので、近隣のJAあさひかわ神楽支所さんのスペースをお借りして、旭一さんとも連携しながら、物産販売をやるもの面白い取組になると思います。

あとは、フェスの開催です。フェスは我々の力で動かすのはかなりハードルが高いので、例えば、ウエスに依頼して旭川市と協議して誘致に動いてみてはどうかと思います。

そして、動物園の取組についてです。夜の動物園が行われていましたが、来園者数と経済的な効果がどれくらいあるのかということ旭川市に聞いてみないとわかりませんが、一定の効果があるのであれば、7月・8月に限定してもいいので、毎日やる必要があると考えます。そ

れに乗り物とガイドを付けて、テーマパークのようにすれば、売り物として非常に価値が出てくると思います。

(進行役)

・旭川駅南エリアの効果的な活用。マルシェ、朝市に関してはJ Aあさひかわ神楽支所さんの所有地を利用させてもらうこと。フェスの開催、夜の動物園のナイトサファリの活用という御意見だったと思います。

(参加者)

・北海道では、道の駅が依然として人気がありますが、旭川の道の駅はそれほど注目されることがなく、市民の利用も少ない中、お祭りは市民も観光客も好きだと思いますので、道の駅でイベントを行うことで盛り上げていくという案を出させていただきました。あと、複合施設の建設という意見を出させていただきましたけれども、若い人の間では旭川では遊ぶ場所が少ないという意見をよく聞きます。前回皆さんが出していただいた意見を見ていて、旭川駅南のビーチ建設や駅までの川下りが非常に良いと感じました。旭川は、11月から3月までが閑散期となっていますが、将来的な対策として何が効果的かと考えた時に、雪中パークゴルフや雪合戦は面白いと思います。その他、ペンギンとスケートが楽しめる取組も面白いとあって、旭山動物園には北海道特有の動物も展示されているので、冬時期にそれらの動物に注目したイベント発信を実施すると良いのではないかと思います。あと、旭橋付近での人工スキー場の建設とありましたが、自分はそれほどスキーはやりませんが、世界最高級のパウダースノーを有しているので、周辺の山を登ってからスキーで降りてくるというツアーを造成して、さらにそれを周辺の複数のスキー場とスタンプラリー形式で共同で行い、旭川市に宿泊してもらいながらスキー場を回ると色々と効果的かなと思います。

(進行役)

・道の駅の整備、旭川駅南の整備で夏も冬も楽しめるようにすること。旭川観光コンベンション協会、ユニークベニューという旭川駅南でのコンベンションの開催を実証的に実施しており、そのような取組も可能です。あとはスキー場のスタンプラリーなどがありました。

(参加者)

・三つあげるとすれば、旭山動物園でのペンギンと一緒にスケート体験、旭橋付近での人工スキー場の建設、朝市の実施がいいと思います。理由としては、観光客の誘致という観点で、他のエリアとの差別化という部分を考えてみました。自分が旅行を考える際も、そこにしかないものを選ぶので、旭川ならではの差別化が重要と考えています。動物園は、冬・雪・動物という観点でもっとパワーアップさせたいとあって、前回の会議の意見で動物園関係は6つありますが、その全てを実施してもいいと思います。例えば、動物園内で旭川ラーメンやジンギスカンを食べられるようにすること、ナイトサファリをすることは旭山動物園ならではの取組になると考えます。

次に、旭橋付近での人工スキー場の建設は、スキー人口が減っている中で、簡単にスキーが体験できる環境を求める親も結構います。昼は動物園に行って、夜は少しスキーを体験しに行くというようにすれば、旭川に宿泊もしていただければと思いますし、もし、予想よりも観光客が利用してくれないとなっても、旭川ではスキー授業が一般的に行われているので、市内の小中学生などが利用すれば、利用されないというリスクは減ってきます。

最後は、朝市です。なぜ函館ではなく旭川なのかという部分で、旭川は道北の物流の拠点で

あり、北海道のほぼ中心に位置する第二の都市なので、北海道中の資源が集まってくるということをうまく訴えることができれば、朝市も観光の取組として実施できるのではないかと考えました。

(進行役)

・旭橋付近のスキー場建設，動物園のアミューズメント化に近い考えという気がします，あとは朝市は食べる楽しみ買う楽しみがあるので，そのようなものが恒常的にあると良いですね。

(参加者)

・旭川は北海道第二の都市であり，色々なものが複合的にあるのが大事だと考えております。資料2に各取組がまとまっていますが，全て取り組むべきだと感じていて，困難度の高いものほど重要な取組で，予算や困難度が高いから除外していくのではなく，トライしていくべきものだと思います。動物園については，園長や飼育員の方々はとても頑張っているし，行動展示のもと新しい施設も次々とオープンしておりますが，市内の宿泊客で旭山動物園に行かれる方はいまだに多いため，動物園をブラッシュアップしていくのが大事だと思います。その方法としては，PFIなどで民間能力を取り入れ，経営の面で工夫していけばいいと思います。次に，スポーツツーリズムという観点で，旭川周辺は自然環境が豊かなので，スポーツ関係の大会や合宿を誘致して，年間を通しての誘致の可能性が高いです。それから，旭川空港の路線の拡大と利用のしやすさ，他の空港から入って旭川空港から出ていくオープンジョーを最大限活用すべきだと思います。今後，新幹線が札幌に延伸することも考えると，旭川空港の活用の可能性が出てきます。最後に，温泉ガストロノミーツーリズムで，これは要するに温泉と食の文化を混ぜて楽しむというもので，旭川はあまり温泉の資源が豊富ではありませんが，大雪山を中心に周辺町では温泉が多くあり，大雪カムイミンタラDMOを中心に，1市8町で連携して観光客の誘致に取り組んでいる部分もあります。今後，モニターツアーなどを実施して食や温泉がしっかり認知されると，誘客がしっかりできるのではないかと思います。

(進行役)

・全て取り組むべきという話がありました。そのとおりであります。ただ，今はあくまで会議のまとめとしてある程度絞っていく形で考えております。御意見の中で，温泉ガストロノミーツーリズムの話があり，確かに，広域で観光振興に取り組むことは重要であります。

(参加者)

・野外ライブやフェスの開催が良いなと思っています。自分もライブに行くことがありますが，夜の開催が多いので，自然と宿泊につながるからです。冬でも開催ができるように，札幌でいえば真駒内アイスアリーナのような建物が理想で，旭川空港は冬でも就航率が高いので，十分対応できるのではないかと思います。次に，観光関係団体，例えば，大雪カムイミンタラDMOへの民間力の取入れということで，組織には派遣職員が多く，皆さん頑張ってくださいますが，組織運営や事業実施に関しては観光業界に携わってきたプロの視点・能力が必要になってくると感じています。三つ目として，大雪山国立公園の活用ということで，夏は登山が一般的にできますが，冬にも体験できるアクティビティがたくさんあるので，そのような大雪山を活用した取組を充実することが効果的なのではないかと思います。

(進行役)

・フェスやDMOなど民間能力の注入，大雪山の活用については，先ほどの温泉ガストロノミーも活用できると思います。

(参加者)

・報告書のたたき台に課題が二つあり、一つは観光入込客数と宿泊延数の問題、もう一つは観光客の入込に季節的変動があることがあげられていますが、「年間をとおして」という部分はそんなに重きを置かなくてもいいのではないかと思います。旭川の特異な部分をどんどん伸ばしていって、そこからこぼれ落ちるものを閑散期で拾っていけば良いと考えるからです。その中で、3案程度に取組を絞るとして、資料1の3つのジャンルからそれぞれ一つずつ選んでみますと、まず、商品造成・イベント開催では、朝と夜の取組を強化すべきで、夜の動物園の話がありました。積極的に取り組んでいただきたいと思ひますし、その他にも夜のアクティビティとして、伝統芸能施設を街中に作ってはどうかと話している人がいました。大きな建物ではなくていいので、外国人の方にも効果的だと思います。朝市はぜひやっていただきたいです。昔、朝もぎのトウモロコシの企画を考えたとありますが、宿泊施設とも連携していけば、もっと朝や夜のコンテンツが増やせるのではないかと思います。次に、情報発信では、交流人口として旭川に来られる人は、大概は宿泊もしていただけると思ひますので、もっと積極的に生かしていただきたいと思ひます。三つ目は、受入体制のところ、コンシェルジュを旭川で育ててほしいです。外国人もそうですが、日本人の方でも色々な旅行形態で実施される方は多いので、旅前でコンシェルジュの方に相談できれば、旭川を選択していただける旅行者も増えると思ひます。

(進行役)

・伝統芸能施設は、どのような出し物を見せるか考えていきたいですね。交流人口を増やすという観点で、旭川市は南さつ市と友好都市となっていますが、そういう都市がもっと増えるとか。コンシェルジュは、色々なことが網羅されたAIデータなどが用意されても良いかもしれません。

最後に私ですが、商品造成はまとめて考えてみて、動物園はその場所で色々な体験ができること。次に、旭川は川の街なので、川をコンセプトにしたコンテンツを作っていただきたいということ。そして、情報発信が一番大事だと思います。あとは、受入体制はMa a Sを何とか実践したいと考えています。

それでは、事務局から発言のまとめに関してお願ひします。

(事務局)

・まず、本日欠席されている参加者から事前に御意見を頂戴しておりますので、代わりに発表させていただきます。

一人目の参加者からは、動物園と連携した誘客事業の実施、旭川でのイベントの開催、メディアを上手く活用した情報発信という3つを御提案いただきました。

次に、二人目の参加者からは、温泉ガストロノミーツアーの実施、周辺自治体と連携したMa a Sの運行、旭川空港から旭川駅までの川下りの実施という3つをいただきました。

これらと、本日の会議内容を踏まえると、皆さんの御意見で過半数を占める取組がいくつか絞られたと思ひます。一つ目は、朝市や道の駅を活用した誘客の取組、二つ目は旭川駅南を活用した誘客の取組、三つ目が旭山動物園を活用した誘客の取組。この三つが、分野別会議としての重点的な取組となってくるのではないかと考えております。

(進行役)

・それでは、朝市や道の駅の活用、旭川駅南の活用、動物園の活用を重点的な取組としてまと

めて、それ以外の本日各委員から発言があった取組は検討すべき取組としてまとめて、最後に前回の会議で発言があり、本日絞られなかった取組も報告書には全て載せるというような形で落とし込んでいきたいと思います。

これについて何かございますか。

(参加者)

・ある程度取組がまとまっていますが、私も本来的にはこれらの取組は全て実施すべきだと思います。予算や困難度が高いほど、効果的な部分があると思いますので。そこで1点だけ話しておきたいのが、先日ハワイに出張に行っていて凄いなと思ったことがあるのですが、「カマアイナ」という制度があります。これはローカルに優しいという制度で、地元の人に優しいものです。旭川は外需に頼らなければならないところがありますが、内需も大切にしなければなりません。デフレも進行している中で、今後このような取組をする際は、安くし過ぎたりタダでやるようなことはしないでいただきたいと思います。外部には適正価格で提案し、内部には優しくしたら、旭川の産業にも未来があると思います。

(進行役)

・同感です。国全体がそういう方向に向かっている気がするので、しっかり取るところは取り、そうした上で「カマアイナ」ができれば良いです。

あとほかに何かございますか。

(参加者)

・資料3についてですが、函館と比較した理由を明確にしていきたいのと、「泊まるメリットがない」という表現は変えたほうが良いような気がします。あと、秋から冬にかけて観光客が落ち込むとありますが、秋といっても10月はまだ紅葉で観光客が来ていますし、2月も旭川冬まつりで観光客が入ってくるので、違う表現にした方が良いのではないかと思います。

(事務局)

・次回の会議で、改めて本日の意見を含んだ形での資料3について審議していただくため、ただ今の御意見を踏まえて資料を作成させていただきます。

(2) その他

(進行役)

・その他として何かあるか。

(各参加者)

・特になし